

# せ 聖籠町 議会だより

せい ろう まち

新潟県聖籠町議会

VOL.129

12月議会  
令和2年  
1月31日発行

新たな議会構成を紹介

初めての町民との意見交換会



町政を問う 8人が一般質問

3ページ

12ページ

13ページ

14～21ページ

うわあ～おもたーい！！  
(柔道スポーツ少年団・鏡開き)



# 新春を迎えて

議長 五十嵐



利栄

## 令和の時代を スタートするにあたり

町民の皆さま、明けましておめでとうございませう。

本町の「財政力」は最も豊かなときと比べて大変厳しくなっております。一方で、全国926町村中、32の不交付団体の中にあることも事実であります。

そのような中で、町は町民の皆さまの多様な要望に対応するため、予算の組み立てに全力を傾注していると伺っております。

また、議会は町政へのチェック機能である役割を、十分に果たしていかなければならないと考えております。

当議会は長年の課題でありました「議会基本条例」を昨年3月に制定しました。そしてその活動の第一歩として12月に町民の皆さまとの意見交換会を開催しました。

本年は町民の皆さまとふれあう機会を、より多く持ちたいと考えております。

本年も町民の皆さまの健康と幸せを祈念致しますとともに、議会活動に對しまして、より一層のご理解・ご指導・ご協力を心からお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

### 議長に五十嵐利栄議員

### 副議長に長谷川六男議員



五十嵐 利栄 議長



長谷川 六男 副議長

議長選挙、副議長選挙ともに、議員全員の無記名投票による選挙で行いました。選挙結果は左記の通りです。

#### 議長選挙結果

五十嵐利栄議員 7票  
高松 守雄議員 4票  
無効票 3票

#### 副議長選挙結果

長谷川六男議員 7票  
田中 智之議員 5票  
宮沢 光子議員 2票

### 一部事務組合等の議員の選任

### 変更のお知らせ

- 新発田地域広域事務組合  
五十嵐利栄 須貝 龍夫
- 新潟県後期高齢者医療連合  
高松 守雄
- 新発田市・聖籠町議員協議会  
長谷川六男 高松 守雄  
青木 順 手嶋 満  
高崎美由貴

### 聖籠町議会 新たな委員構成の紹介

12月3日、議長および副議長を新たに選任しました。委員会構成に一部変更が生じたため、再度紹介いたします。



#### 総務文教 常任委員会

委員長 小川 勝也  
副委員長 手嶋 満  
委員 五十嵐利栄 田中 智之  
宮沢さやか 伊藤 千穂  
高崎美由貴



#### 厚生産業 常任委員会

委員長 高松 守雄  
副委員長 宮沢 光子  
委員 長谷川六男 須貝 龍夫  
中村恵美子 青木 順



#### 広報広聴 常任委員会

委員長 宮沢さやか  
副委員長 伊藤 千穂  
委員 中村恵美子 田中 智之  
青木 順 高崎美由貴  
発行責任者 五十嵐利栄



#### 議会運営 委員会

委員長 中村恵美子  
副委員長 宮沢 光子  
委員 長谷川六男 田中 智之  
宮沢さやか 手嶋 満

# 主な審議の内容

※審議した議案の一部を掲載しています。

## 12月 定例会

規約  
変更

新発田地域広域事務組合の共同処理する事務と規約を  
変更します

全員  
賛成

内 容

令和元年6月に、旧し尿処理場の建物と用地を売却しました。旧し尿処理場の管理をする必要がなくなったため、規約の一部が変更となります。

主な質疑

質 疑

答 弁



建物と用地はすでに売却済みである。売却額は新発田市と案分されたのか。



今年度中までに、売却にかかる詳細な情報が提出されるのか。

国への返還金の支払いがまだ残っている。売却額や案分等について、詳細な情報は得ていない。

生活環境  
課長

新発田地域広域事務組合からは、3月の議会をもって条例の廃止、会計の整理を行うと聞いている。

生活環境  
課長

条例  
改正

聖籠町職員の給与に関する条例が一部改正されます

全員  
賛成

内 容

令和元年の人事院勧告および新潟県人事委員会勧告を踏まえ、職員の給料表が一部改正されます。民間の初任給との差があるため、引き上げの改定となります。

- ①初任給が1500円引き上げられます。
- ②おおむね35歳以下の職員が在籍する号給が引き上げられます。

行政職(1)<sup>※1</sup>の平均改定率は0.1%引き上げ、行政職(2)<sup>※2</sup>および医療職に相当する職員の給料表は、行政職(1)との均衡を基本に改定されます。

一口メモ

- ※1 行政職(1) 他の給料表の適用を受けないすべての職員。
- ※2 行政職(2) 運転員、調理員、用務員等の技能労務職に従事する職員。

## 条例制定

### 会計年度任用職員の給与等について規定します

全員賛成

#### 内容

地方公務員の臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件の確保を目的とし、「会計年度任用職員制度」を創設するために法律が改正されました。会計年度任用職員の給与等、必要な事項を定めるため条例を制定します。

#### 主な質疑

#### 質疑

#### 答弁



中村議員

こども園の担任、副担任となる教諭は、2級<sup>\*</sup>に該当し、かつフルタイム会計年度任用職員となるのか。

2級に該当する職員としてクラス担任等を想定はしているが、詳細はまだ決まっていない。近隣市町村との整合性も図る必要がある。現在、情報交換を行っている段階だ。



町長



中村議員

以前、正規職員ではない方が担任となることに対し、保護者から意見があったと聞いた。現在も同様の事例があるのか。今後どのように対応していくのか。

基本的には正規職員が担任である。しかし新規採用者の直前の内定辞退等で職員数が足りず、臨時職員が対応することもある。これは今後も想定される。その場合はフルタイム会計年度任用職員として対応をお願いしたいと考えている。



町長



宮沢(光)議員

「本条例の施行に関し必要な事項は規則で定める」と第30条に記載されている。いつ頃までに定め、職員への説明はいつ行うのか。

近隣自治体と情報交換をしながら年明けには考え方を示したいと考えている。基本的には、今ある年収を維持するよう調整を進めている。



町長

※級別職務分類表（第4条関係）

職務の級	基準となる職務
1級	定型的または補助的な業務を行う職務
2級	高度の知識または経験を必要とする業務を行う職務

# 一般会計 補正予算

## 台風19号の影響で 樹木伐採

### 主な歳入

●財産売払い収入	699万円
●特別保育事業補助金	828万円
●繰越金	1125万円

### 主な歳出

●通所介護運営事業委託料	707万円
●保育業務委託料	1656万円
●重度心身障害者医療扶助費	675万円

## 主な質疑

令和元年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3356万円を追加。総額を69億3593万円と定める予算を全員賛成で可決しました。

#### 質疑

#### 電気料は いくらの削減か

中村恵美子議員

床暖房デマンド自動制御機器借上料は、蓮瀉子ども園の床暖房の契約だと思いが、どのような内容なのか。

また、この機器を借り上げることで、電気料金が安くなるのか。床暖房

を入れているのは、蓮瀉子ども園のみか。

#### 答弁

約20万円の  
削減見込み

子ども教育課長

蓮瀉子ども園の床暖房の契約は、今まで電気料金が一番高い時期を基に契約基本料金が設定されていた。しかし、近年開発された省エネのための

自動制御機器を取り付けることで、契約料金を引き下げることが可能。また試算ではあるが、年間約20万円の削減が見込まれる。床暖房設置場所は、蓮瀉子ども園のみである。



蓮瀉子ども園

床暖房デマンド自動制御  
機器借上料  
4万円  
歳出

質疑

樹木の安全管理は  
どうか

中村恵美子議員

予備費の約459万円は、蓮のギャラリーの樹木伐採と聞いているが、どのような内容か。

また、伐採は終わっているのか。

答弁

すでに伐採済み

社会教育課長

台風19号の影響で、蓮のギャラリーの樹木は、隣の民家に倒れそうなど危険な状態であった。また腐食の状態も調査した結果、内部が空洞化しているものも確認された。ヒマラヤ杉と檜を5本ほど伐採済みである。町職員で撤去も検討したが、できないと判断し、伐採してもらった。



蓮のギャラリー

予備費

歳出

459万円

質疑

売却した土地は  
何か

宮沢光子議員

土地建物売払い収入は、町が所有する不動産を売ったということなのか。

答弁

水路敷や  
赤道などである

総務課長

町で管理している水路敷、赤道などが機能を果たしていないと判断した場合、町の要綱に基づき、隣地に販売することがで



消防車両

物品売払い収入

歳入

22万円

質疑

売却した物品は  
何か

宮沢光子議員

物品売払い収入だが、どのような内容か。

また、町のホームページを確認すると、11月の内容だが、町所有のフォークリフトが売却されたのか。

答弁

消防車両である

総務課長

町所有の消防車である。フォークリフトはまだ売られていない。



### ● デイサービスセンターで事故

### ● 新潟東港開港50周年

### ● 町文化祭で展示数・来場者数が共に増加

## 行政報告



市長 西脇 たくし

**事故** 町デイサービスセンター利用者が、おやつを喉につまらせお亡くなりになるという事故が発生しました。あらためて、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお詫び申し上げます。

**循環バス関連事業** 聖籠町公共交通検討委員会から「聖籠町における新たな公共交通のあり方に関する報告書」が提出されました。早ければ令和2年10月から新しい公共交通体系による事業をスタートしたいと考えています。

**プレミアム付商品券** 所得者からの商品券購入は、全国的な傾向と同様に低い状況です。今後、町商工会と連携を図りながら、円滑な事業の実施に努めます。

**大型クルーズ客船寄港** 11月15日「ダイヤモンド・プリンセス」が本年2回目の寄港をしました。二宮邸、ざぶくん、聖籠地場物産館を周遊するシャトルバスを運行し、約30人の方にご利用いただきました。

**新潟東港開港50周年** 新潟東港が開港から50周年を迎えたことを記念して式典が執り行われました。東港の開港と発展に携わった多くの方に列席をいただき、盛大に祝うことができました。

**保育園事業** 令和2年4月1日からの新規入園申請の受付を行ったところ、11月1日現在で0〜2歳の計88人から申請がありました。継続児童と合わせると合計で258人の児童が町内認可保育園へ入園希望となりました。

**町文化祭** 今年は文化庁などの共催をいただき、例年の催事のほか、人形美術協会による日本人形の展示などがありました。新たな企画の追加もあり、結果的に来場者増加につながりました。

## みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では陳情1件を審査し、条件付きで採択しました。

### 採択した陳情

◎通学路の指定及び防犯灯と横断歩道の整備に関する陳情書  
〔陳情者〕 蓮瀨区長 神田勉

集落代表  
高橋高一

討論 なし  
採決 全員賛成で採択

### 監査委員の選任について

聖籠町監査委員に田中智之氏を選任することについて、討論が行われました。

### 討論(要旨)

今回の監査委員は全員協議会において議員14人が公正に投票して選んだ。これ以上の決め方はなかった。どのような立場であれ、これに賛成しないということは議会としてあり得ない。

賛成 高崎美由貴議員

### 固定資産評価審査委員会委員に小林勝治さん(再任)

令和元年12月31日をもって任期満了となる同委員の小林勝治さん(山三賀)が引き続き選任されました。

### 第4回臨時会

11月25日、令和元年第4回臨時会が1日間の会期で開かれました。小川益一郎議員の議長職辞任の許可について、異議なしで許可されました。

### 須貝龍夫議員に特別表彰が授与

全国町村議会議長会から議長会の発展に寄与した功績がたたえられ表彰されました。



監査委員に  
田中智之議員(二本松)

出席議員11人中、賛成7票、反対4票により同意しました。  
(議長からの起立採決提案に対し、須貝議員から無記名採決の動議が出され、賛同者高松議員、青木議員で動議が採択され、「無記名投票」での採決となった。)





# 議員表決結果報告

令和元年第4回聖籠町議会定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
		高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子	小川益一郎	須貝龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	
町長	聖籠町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	聖籠町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	聖籠町下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	聖籠町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	同意
	新発田地域広域事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	新発田地域老人福祉保健事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	新発田地域老人福祉保健事務組合の解散について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	新発田地域老人福祉保健事務組合の解散に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	下越障害福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	指定管理者の指定について [聖籠町農産物加工センター]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	令和元年度聖籠町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
	監査委員の選任につき同意を求めるについて	無記名投票による							除斥	無記名投票による			欠	無記名投票による		同意 (賛成7反対4)
議員	天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
陳情	通学路の指定及び防犯灯と横断歩道の整備に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	採択

議会構成  
定例会概要  
行政報告・陳情等  
表決結果  
決算意見書回答  
意見交換会  
読者の声・Smile  
一般質問  
委員会レポート

# 平成30年度決算審査特別委員会における 意見書に対する町からの回答

前回の議会だより（128号）に掲載した平成30年度決算についての議会からの提言・要望に対し、11月19日付けで町から回答が出ましたのでお知らせします。

## 一般会計

### 歳入について

①平成30年度決算委員会開催期間中に、未計上金額があることが報告された。現金管理の具体的な対策を徹底的に検証し、再発防止に努められたい。

**回答** 今後、財務規則等に基づく公金取扱事務に関する職員研修をすると同時に、職員のコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを行い、再発防止に努める。

②東山団地の空き部屋対策や、町有医師住宅の有効活用の対策は。

**回答** ホームページや広報を活用するほか、東山団地の入り口付近に募集看板を設置して入居者を募集している。医師住宅は、経年劣化はあるものの、有効な資産であり、活用策を検討していく。

③国や県の動向を注視し町に対する交付金等を見逃すことなく対応を。

**回答** そのように努める。

④生活困窮者への税等の徴収については、該当者の事情等に十分留意した上で対応を。

**回答** 税等の徴収は、常に納税者間の公平を旨とし、今まで通り滞納者との十分な面接や交渉を行った上で、適正かつ的確な事務処理を行っていく。

### 歳出について

①町長の公約である「ふるさと納税」1億円達成に向け、他自治体の事例等を参考にするとともに、発送経費削減に努力を。

**回答** 返礼品の追加やサイト増設などの手段を講じている。今後はサイトのさらなる増設やPR活動などに取り組み、寄付金増加に向けて取り組み。発送経費等は効果的な手法を模索していく。

②各種借上料と委託料等は予算に占めるウエイトが大きい。専門的・継続的な検討と歳出削減への具体的な取り組みが必要

**回答** 各部署において委託内容の見直しや精査を行っている。今後は行政改革部会による政策評価や、必要に応じてプロジェクトチームを設置し、経費削減に努めていく。

③コンビニ収納等により、各種料金の収納率の向上が可能か検討し対応を。

**回答** コンビニ収納に対応していない各種料金の大半は口座振替を利用。今後、実施の可否を検討。

④大きな課題であるごみ減量化について、町民への啓発徹底を。

**回答** 今後もイベントや広報誌などで、定期的に情報発信し啓発する。

⑤ざぶくん館への資金投入は、町の財政を圧迫しており、経営改善が急務である。部門ごとに販売目標設定するとともに、損益分岐点を意識する中で継続的な対応を。

**回答** ざぶくん館の管理



運営においては、源泉井戸の適正な維持管理と衛生管理体制の充実強化による温泉の安定供給が町の責務である。また、各部門の売上状況や経営改善に向けた取り組みを適宜確認しながら、協議を継続していく。

⑥地場物産館と隣の空き店舗、農産物加工センターの活用等について、対応策の検討を。空き店舗については別途検討を。

**回答** 地場物産館は平成31年3月に定めた経営健全化方針に基づき、取り組んでいる。加工センターは新たに巨峰やイチジクなどのジャムを商品化するなど、利用促進を進めている。空き店舗は、民間活力の導入を優先して検討を進める。

⑦クルーズ客船受け入れは本町にとって大きな集客が見込めない。委託料の再考が必要では。

**回答** 新潟県・新潟市・聖籠町の3者で、委託料負担を含めた受け入れの在り方を検討する。

⑧消防団の編成縮小で、有事の活動に支障がないよう対策を万全にすべき。

県大会出場等で多額の出費が必要ときは、事前に対応をし、経費削減を。

**回答** 縮小による活動への影響はないと考えるが、今後も組織力の向上を図る。県大会などの経費は、削減に努める。

⑨まちなか防災訓練に目新しい内容を組み込むなど、町民が積極的に参加できるような工夫を。

**回答** 町としては各集落の訓練や計画策定に参画することも重要。起震車の体験も実施している。

⑩スポアイランドの芝生と周辺樹木管理に多額の経費を支出。芝生管理については専門家の意見等を聞き経費削減を。

**回答** 管理について芝生は専門業者、樹木はシルバー人材センターに業務委託。競技場としての機能が損なわれない範囲で経費削減を検討する。

⑪老朽化が進む町民会館の建物・設備の改修を計



画的に実施するよう望む。

**回答** 平成30年度に劣化調査・診断を実施した。結果を踏まえ、まずは優先度の高い15項目を修繕する。経費は約2億円。

⑫国際交流事業は中学生の将来に寄与できるような改善策を模索し、一定の方向性の検討が必要。

**回答** 豪州での海外研修が参加生徒の将来に活かされることを期待する。今後、改善策を模索しつつ、事業の方向性を検討。

⑬町教育研究会等講師謝礼が年々減少している。学校現場と連携を密にし、講師の確保に万全を。

**回答** 講師等については早期に選任し、学校と連携し人員確保に努める。

## 特別会計

### 国民健康保険

【事業勘定】①人間ドックや特定健康診査の受診率向上に向け、さらなる啓発活動を。

**回答** 広報等の充実を図り、啓発に努める。

【施設勘定】②診療所のさらなる充実を図り、より身近な診療所として運営されることを期待する。

**回答** 今年度、診療所に電子カルテを導入した。また医療機器の購入等、医療サービスの向上に努めている。今後は他の医療機関と連携しながら地域医療の充実を図り、町民ニーズに対応していく。

### 介護保険

①県下で3番目に高い保険料の低減努力を。

**回答** 高齢者がいきいきと健康で活躍できるように支援を行うことで、要

支援・要介護への移行を防ぎ、介護保険給付費等の抑制に努める。

②高齢化が進んでいる中で、継続した要介護認定率引き下げに向け、予防対策、運動指導などの努力を。

**回答** 平成30年度からは、地域の茶の間づくり等を推進している。引き続き町民参加を促し、効果的な介護予防対策を推進。

**回答** 今後、本事業を町の事業と切り離すことで、町の負担を圧縮できないか。

**回答** 負担圧縮については、法人組織への委託の可能性も含め十分検討。

## 事業会計

### 下水道事業

未接続軒数5百軒の住宅に対する接続促進努力を。

**回答** 接続率の低い地区から順次アンケートを実施し、接続促進に努める。

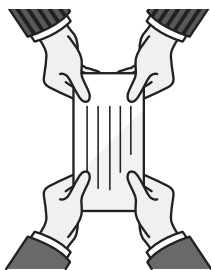
### 水道事業

①検針は期間内に検針を行うノルマがある。年齢基準の設定等の検討を。

**回答** 他市町村の状況を調査し、年齢基準等を検討する。

②下水道未加入世帯には粘り強く加入促進を。

**回答** 年2回、広報で加入に関する啓発を実施しているが、内容を充実させ加入促進に努める。



初めての

## 町民との意見交換会



12月1日役場庁舎内で、町民から直接声を聞く初めての「町民との意見交換会」を開きました。

参加者数は、男女合わせて31人で、議員定数やごみ回収、陳情などに対し、活発な意見や質問が出されました。

平成31年3月に「聖籠町議会基本条例」を制定し、「1年に1回以上、町民との意見交換会を開催し、町民の意見を町政に十分反映させ議会運営

の改善を図る」と定めています。

## 議員定数への意見

●町民の声を聞くとなれば、定数を増やすという発想があっても良いのでは。また、若い議員のなり手がない中で、60代の定年後の人材を輩出することも大切である。

新たな議員のなり手を発掘するという視点も必要ではないか。

●議員定数の増減の判断材料、理由がよく分からない。町民に分かりやすく提示することが重要ではないか。

●定数については、町民の意見を聞きながら検討したいというのだが、検討についての行程表を示してもらいたい。提示することで、多様な人材が議会に送り込める可能性が出てくるのではないか。

◎議員側からは、定数削減をした方が良い。今の議員定数で良い。増やした方が良い。という回答が出た。

## 町行政への要望

●生ごみの収集について今後、復活する可能性はあるのか。生ごみたい肥化事業を含め、肥料代を上げて良いので復活してほしい。

●第3火曜日だけが不燃物の回収日となり、困っている。せめて、月2回



に増やしてほしい。町民に不便が生じていけば、増やすという決断も必要ではないか。

●聖籠町は介護施設が多いので、介護保険料が高くなっているのではないかと。町民に対して、情報開示、見える化を図ってほしい。

●消雪パイプの設置は、予算の関係で厳しいと執行部から返答をもらって

いる。陳情の優先順位は、どうなっているか。

議員を通して陳情をあげると優先度が増すことがあるのか。

次号で他の意見も掲載します。意見交換会後にアンケートをお願いしました。それについても、次号でお知らせします。

# 蓮小子ども の声

蓮野小学校の1年生から6年生まで、子どもたちの声をお届けします。笑顔の写真と一緒にお読みください。

## 質問項目

- ① 学校のここが好き!! (1、2年生)
- ② 学校でがんばっていることは? (3、4年生)
- ③ 将来の夢は? (5、6年生)



**五年 八藤後 壘さん**  
 ぼくの将来の夢は、すし職人です。理由は、小さいころにすし屋に行ったらおすしがおいしくて、ぼくもこんな風にな作りたいな」と、思ったからです。



**三年 後藤 蒼天さん**  
 ぼくは、音楽が苦手だけれど、リコーダーをがんばりました。学習発表会では、間違えないでリコーダーをふけてよかったです。



**一年 櫻井 和花さん**  
 わたしの好きな場所は、一年二組の教室です。なぜかというところ、いろんな友達とダンスをするのが楽しいからです。



**六年 渡邊あずささん**  
 私の夢は、海上保安官です。海上で起こった犯罪の取り締まりをしているのが、かっこいいからです。海の平和を守りたいです。



**四年 長谷川陽菜さん**  
 児童会のダンス大会に向けて、毎日友達と練習しています。みんなの動きがそろおうようにがんばりたいです。



**二年 高口 美優さん**  
 わたしの好きな場所は、パソコン室です。なぜかというところ、楽しい勉強ができるからです。音楽も作ることができます。



# 読者の声

## 失望した9月定例議会 Tさん(二本松)

議員活動の基本は言論である。先の厳しい選挙戦を経て初めての議会において、有権者は皆、当選した議員たちの発言に注目したのではないだろうか。ところが9月議会では一般質問に臨んだ人は14人中8人、新旧6人の方からは発言がなかった。選挙公報に掲げた公約がたとえいばらの道のような厳しい課題であっても、自分の考えを提起する義務がある。議会での発言がないのは、当選したいたがために、どこかで聞いたような他人の政策を借用したのでは?と思われても反論できないのではないかと、新人の前職を見ると、農業や教育関係の専門的な知識を持ち合わせ



ており、既存の総合計画にはない発想を期待したくなる人ばかりだ。それを踏まえ通常の区長会議等で提起される問題点以外にも、新しい視点と町民が賛同し建設的論議ができる意見を強く求めたい。また女性議員の割合が県内トップなのは、時代の流れに沿った特筆すべき点である。ぜひ女性議員の視点から新たな取り組みの提案を期待したい。聖籠町には2つの文

化圏があると言える。1つは田畑を基にした農業文化。もう1つは東港工業文化である。農業は町の基幹産業で従事者は多い。一方、東港地域には約190の事業所があり昼間人口が8千人以上と町民数の約6割に匹敵する。この2つの文化圏の融合を図りながら、社会の変化や課題を見極め、住みよく、誰もが暮らしたくなる町づくり構想をぜひ練っていただきたい。

※9月定例会後に議会に寄せられた意見です。議会では今後、意見や要望を頂いた場合は、このように「読者の声」として掲載したいと考えています。なお投書の際は住所・氏名・連絡先の明記をお願いいたします。また、掲載において匿名希望の方はお申し出ください。



はせがわ むつお  
長谷川 六男 議員

# 防災訓練と災害対策万全か

## 町長 各集落とともに検討していく

近年は温暖化の影響かとも言われている中、50年に一度、100年に一度と言われる大災害が発生している。今までの防災訓練のやり方、また、今後の災害対策について何点か問う。

**問** まちなか防災訓練では、全集落が参加したか。町が想定した人数が集まったか。

**町長** 37集落、合計で1881人の参加。訓練参加の想定人数は特に設定していない。

**問** 各集落の結果報告書を見て、検討課題はあったか。

**町長** 訓練のマンネリ化については検討課題と捉えている。

**問** 地震だけでなく、さまざまな災害に応じた避難訓練の検討も必要かと思うが町長の考えは。

**町長** 大型の台風や想定外の豪雨に対する訓練も重要であると考え。これからも地震、津波を想定した訓練を実施していくが、その他の災害にも役立つ訓練となるよう検討していく。

**問** ゲリラ豪雨を想定した、河川の点検を含めた安全対策の考えは。

**町長** 県が河川管理者となり、監視や管理、点検を行っている。有事の際に素早く対応し、適切な避難誘導や被害軽減ができるよう努めたい。

**問** 登下校時や授業中に地震が起きた場合の対処方法について、子どもたちは避難訓練で学んでいるか。

**教育長** 教師の指示を聞いて、速やかに落ちついて行動することを学んでいる。学校以外でも、自分の命は自分で守る意識を養っている。

**問** 学校など各避難所の閉鎖時間中の鍵の管理はどうなっている。

**町長** 鍵の管理は、施設の管理者が行っている。有事の際には対応できているので特段問題はない。

**問** 公約の洪水ハザードマップの策定はいつ頃か。

**町長** 年度末までには災害ハザードマップを作成。

**問** ニュース報道でヒアリの女王アリや女王アリの死骸発見とあった。大型クルーズ客船も入港する新潟東港、万全な水際対策が必要と考えるが。

**町長** 町としても引き続き新潟県との情報交換を密に行い、ヒアリの侵入がないか監視していく。



▲起震車で大地震を体験

## 緑丸をもっとPRせよ

### 積極的な活用に努める

**問** 町のイメージキャラクター緑丸をもっとPRし、観光客を呼び込む一助になってもらうべきではないか。

**町長** 各種イベント等での活用などを行っている。ある程度浸透していると感じるが、今後もさらに積極的な活用に努める。

## 大丈夫かヒアリ対策

### 町長 引き続き監視していく

# 町公共工事は順調か

## 町長 予定通りに進んでいる

毎年、総合計画に基づいて、住民の要望を取り入れながら計画的に町の公共事業を確実に進めていると思う。

**問** 来年度施工予定の3小学校体育館のつり天井撤去改修工事は、3校同時期に行うのか。

**町長** 3校とも授業に影響のない夏休みに行い、2学期が始まる前までに完了させたい。

**問** 蓮濁金清水線の道路工事や、消雪パイプ工事などは、予定通りに進んでいるか。

**町長** 蓮濁金清水線は、250メートルの改良工事を年度末までに完了予定。来年度以降も、国の交付金を活用し、早い段階で完成したい。消雪パイプ工事は真野地区で行っており、11月末で完成している。

**問** 来年度の文化会館の補修工事はどの部分の予定か。

**町長** 文化会館と体育館にあるステージのつり物設備は危険度が高いため、最優先の修繕箇所である。



おがわ かつなり  
小川 勝也 議員



▲いち早くつり天井の撤去を

## 教育改革の現状は

### 教育長 多様な展開を模索している

本年10月から幼保無償化が始まった。町の教育も大きな影響が出てきていると感じる。

**問** 英語教育が、町教育でのブランドになってくると思う。今後の英語教育の目標は。

**教育長** 最終的には、中学校を卒業するまでに4割から5割の子どもたちが英検3級を受験できるように進めたい。

**問** 10月幼保無償化がスタートした。各こども園の人数など変動はあったか。

**教育長** こども園での園児数の変動は特にならない。

**問** 学校支援地域本部の形態が来年度より変わると聞いた。どのように変わるのか。

**教育長** 地域学校協働本部に移行し、町民だけでなく、多様な団体、組織の参画をお願いする。事業のネットワーク化が図られ、従来の一方的な学校支援よりも多様な事業が展開される。

## 今後の循環バスの見通しは

### 町長 さらに検討を進める

新潟県、新潟市を含む各自自治体が、行財政改革を進めている。本町も西脇町長のマニフェストに従い、2年目の改革を進めている。

**問** 大きな行財政改革の項目に挙げられている循環バスについて、来年度の変更内容と変更予定時期は。

て、新たな公共交通の在り方を決定したいと考えている。

**問** 新潟県は、職員にまで給与削減案を提案している。本町も人件費削減に取り組むのか。

**町長** 今後町としては、検討委員会の報告を基にさらに検討を重ね、来年度中の移行を視野に入れ

**町長** 今後、総人件費等抑制の検討は必要である。しかし、賃金の削減は職員モチベーションにも影響する可能性がある。給与をカットする状況には至っていないと考える。



みやざわ  
宮沢 さやか議員

# タクシー券助成の制度拡充を

## 町長 財源を踏まえた上で検討

**問** 高齢者タクシー利用料金の助成制度について、利用者や町民からどのような声が上がっているか。

**町長** 来年度以降の継続要望の声が上がっている。

**問** 「高齢者の外出支援と運転免許証の自主返納促進による自動車運転事故防止」という制度の趣旨に基づき、さらなる対象年齢の引き下げや、配布枚数を増やす等の拡充を行うべきではないか。

**町長** 財源をシフトするという考え方に基づき、まずは枚数の拡充を検討したい。

**問** 外出により人との交流も図れる。健康寿命延伸の観点からも、対象年齢の拡充が優先事項ではないか。他の助成制度との

公平性もある。今後、内部で検討を図りたい。

**問** エコバスと同様に、75歳以上としてはどうか。

### 町営住宅にまちづくりの視点を

#### 町長 検討の余地はある

**問** 町営住宅の空き部屋解消、さらなる福祉の増進に向け、子育て世帯やシニア世帯に対する優遇制度を導入してはどうか。

**町長** 町全体の課題として捉える必要があるが、公平性の観点から導入は難しい。町営住宅の個別的な課題については検討の必要はある。

**問** ホームページ（HP）にも詳細な情報を掲載してはどうか。

**町長** 掲載は可能と考える。検討したい。

**問** 募集看板やHP上の情報提供で、空き部屋解消が果たせるのか疑問だ。町営住宅は活用方法も含め、町長の政策として取り組むことが可能ではないか。まちづくりの視点

**町長** 年齢についてこれからの課題と捉えている。

から町営住宅の在り方についてどう考えているか。

**町長** これまで町営住宅はまちづくりの観点から明確な位置付けがされてこなかった。今後の需要等も含め、どう捉えているか改めて検討する必要がある。

### 英語教育にもICTの力を

#### 主体的な学びにICTの活用は有効

**教育長** プログラミング教育の準備状況は。

**教育長** 次年度からの本格実施に向け、指導計画を作成している。

**問** ICT環境整備状況は。

**教育長** 現状の情報機器ネットワーク環境の大幅な見直しを検討中。国の方針に合わせICT環境の整備を進めていきたい。

**問** 教職員の指導力向上に向けた対策の現状は。

**教育長** ICTの活用は有効と考える。ICT機器を活用しながら英語教育を行う能力を高める等、研修の工夫を行いたい。

**問** 英語の授業でもプログラミングやICTの活用を検討してはどうか。

**教育長** ICTの活用は有効と考える。ICT機器を活用しながら英語教育を行う能力を高める等、研修の工夫を行いたい。

一口メモ

※ICT 「情報通信技術」のこと。通信技術を活用したコミュニケーションを指す。

※OJT 「現任訓練」のこと。「職場内訓練」、「企業内教育」と呼ばれる従業員の育成方法の一つ。



▲ICT機器の有効活用を



# 教員にも働き方改革を

## 教育長 教育業務に集中できる環境に

**問** 教員の持つ能力を最大限に発揮し、子どもたちの良い教育活動につながるよう職場環境の整備を求める。

教員の時間外勤務の実態とその原因は。

**教育長** 原因は3つある。

①教員の裁量でやってきた業務が、義務と捉えられ無理をしても対応し続けていること②絶対的な教員配置数の不足③時代の進展に伴い、学校教育で子どもたちに教えるべき内容が爆発的に増加していること。

**問** 過度な時間外勤務を減らすための業務改善は何をしているか。

**教育長** 学校ではあらゆる角度から効率化や削減について話し合い、授業の充実と子どもと触れ合う時間の確保に努めている。

教育委員会では、教員が本来の業務に専念できる環境づくりとして、専門スタッフ等の配置を検討し、地域学校協働本部との関わり方を模索している。

**問** 教員が関わるべき問題について、一定の線引き等も必要ではないか。

**教育長** 業務に不都合な事務手続きや、県からの調査物を減らすよう要望する。ICT環境の整備も必要。生徒指導上の対応も勤務時間内に行えるように、地域や保護者に理解を求める。

**問** 教員と子ども間でのトラブルについて、どのように対処しているか。

**教育長** 管理職や生徒指導担当などが加わり、組織的に対応している。事案によっては町の専門職が関わっている。

**問** 教師間のいじめ、パワハラ等防止のため、第三者による聞き取り等行っているか。

**教育長** 行っていない。

しかし、管理職が教職員の服務監督を行い、環境整備をしている。県に相談窓口があるのでそこでの対応となる。

## 本町でも農福連携を

**町長**

### 町としても支援を図る

**問** 全国的に農業と福祉の連携が進められている。農業における人手不足の問題と、障がい者の作業賃金向上という観点から、この2つの連携は、今後、本町でも取り組むべき事業だと言える。町としてはどう考えているか。

**町長** 農業において、障がい者の方がどのような作業が可能かということから、丁寧に導入するべきである。社会福祉協議会で就労支援というサービスがあるので、その中で農業というものをどう捉えていくか協議を進めていく。



たかさき みゆき 高崎 美由貴 議員

聖籠町内小中学校教員の月当たりの勤務外時間数の割合 (令和元年11月まで)

	45時間超	60時間超	80時間超
	小学校	50%	20%
中学校	45時間超	60時間超	80時間超
	63%	51%	21%



▲教務室での仕事も多い…



なかむら えみこ 議員  
中村 恵美子

# 災害ハザードマップの配布を

## 町長 今年度中に配布予定

**町長** 災害ハザードマップが平成26年3月に町内に配布されてから、5年が経過している。台風19号は、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした。

**問** 「海抜何メートル」表示も銀行やお店、公庁舎の他にも表示すべきでないか。

**町長** 海抜表示については、平成24年に新潟県建設業協会の協力のもと指定避難所や町施設、各集落の公会堂、銀行、店舗など町民の目に付きやすい所、合計209カ所に貼り付けている。

**問** 災害ハザードマップを保存している世帯は、少ないと思われる。町民

に再度、配布するべきでないか。

**町長** 災害ハザードマップについては、現在更新作業中。年度末までに作成し、順次各世帯に配布する予定である。

再配布の際、各世帯で

保存してもらうように、周知を図りたい。



▲なくさないで ハザードマップ

## 住まいる券の実施を

### 町長 国の経済動向を注視し判断

**問** 中小業者は、消費税10%になり大変である。令和2年度は、町長が言っている景気刺激策として、住まいる券を実施すべきでないか。

**町長** 国の経済動向の効果等を注視しながら、判断していきたい。

## 加齢性難聴の補聴器購入に助成を

### 町長 今後検討したい

**問** 70歳以上の高齢者の約半数に難聴があるとされている。言葉が聞こえにくくなると認知機能が低下し、コミュニケーションにも支障が出て、認知症リスクが高まるとされている。

2017年7月国際アルツハイマー病協会国際会議で、ランセット国際委員会が「認知症の症例の約35%は潜在的に修正可能な9つの危険因子に起因する」と発表した。難聴は高血圧、肥満、糖尿病などとともに9つの危険因子に挙げられた。その際予防できる要因の中

で、難聴は認知症の最も大きな危険因子であると指摘している。

補聴器を早く使うことが、聞こえの改善に大切であることが分かる。しかし、補聴器が高額なため、購入できない高齢者が多い。補聴器購入の際、助成をすることで、聞こえのバリアフリーを実施すべきでないか。

**町長** 認知症発症予防の施策として、難聴対策も重要と考えている。資料等を取り寄せ、助成について検討してみたい。

### その他の質問

**問** 公立・公的病院再編統合は、住民にとって大変なことではないか。

**町長** 同感である。

# 高齢者が安心して暮らせる町に

## 町長 住民同士の助け合いが重要

**問** 今後ますます増加していく高齢者の単身世帯の見守りに対して、町ではどのように対策しているか。

**町長** 社会福祉協議会の給食サービスや、赤十字奉仕団による昼食会の実施、歳末たすけあい運動時の民生委員の訪問など、一人暮らしの高齢者を支える活動を実施している。

**問** 民生委員や集落区長と連携した見守りか。

**町長** 保健師や民生委員が必要に応じて訪問している。

情報提供を承諾していただいている方の名簿を毎年区長に提供し、有事の際の対応をお願いしている。

**問** 住民同士がお互いに助け合える地域づくりが必要では。

**町長** 生活支援コーディネーターが調整役となり、集落において住民主体で活動する地域のお茶の間づくりを進めている。将来、高齢者を支える核となつて住民のネットワークづくりにつながっていくよう期待している。

**問** 生活支援コーディネーターが主催する地域のお茶の間づくりの開催は、何箇所か。また、参加者はどの程度か。

**町長** 現在のところ8カ所と数は少ないが、実施している地域ではお年寄りが集まり、1日楽しめるよう開放している。非常に重要な施策と認識している。社会福祉協議会と協力しながら数を増やしていきたい。

**保健福祉課長** 約5〜10人の参加で、1カ月に1度ぐらいのペースで集まっている。

**問** 老人クラブを廃止する集落が増えているが、これからの存続に対してどう思うか。

**町長** 老人クラブがなくなるのは非常に痛手と考える。今ある老人クラブには継続をお願いしている。休止状態のところには、何とか再開できないかと話している。

**問** 老人福祉電話は、現在の高齢者ニーズに合ったものか。

**町長** 昭和61年に制度としたが、現在は目的を十分達していない部分がある。この制度そのものをどうするか見直す必要の時期にきている。

**問** 緊急通報装置の助成対象の年齢を広げる考えはないか。

**町長** 福祉施策で65歳が一般的な高齢者としている。65歳で全て可能かと言われれば、確かに課題は残る。

**問** 緊急通報装置の貸与は、どのように対象者に周知しているか。

**町長** 65歳以上で一人暮らしの世帯を全世帯把握している。その中で必要



伊藤 ちほ 議員



▲緊急通報装置



てしま みつる 手嶋 満 議員

# 未来へつながらる事業への投資は

## 町長 財政運営への影響を見極める

安心・安全で心豊かに暮らせる聖籠町となるよう努力するということでは誰でも一緒である。

その目標、頂を目指して今後、財政問題等について有意義に議論を重ねることが重要である。

**問** マイナス金利の影響で、地方債の金利も低いレベルである。社会インフラの整備を行うに当たり、借入することも良い機会と思うが、どのように考えるか。

**町長** 起債については、財政運営に及ぼす影響を慎重に見極める必要がある。

学校や教育施設、道路等に優先的に投資して将来の人たちにも負担をお願いすべきと考えている。

**問** 町の貯金である財政調整基金は、いつまでにいくらまで積み増しを行うのか。

**町長** 公共施設等の老朽化対策や社会保障費の増大、災害時の対応など、将来への備えとして可能な範囲で積み増していく。



▲縦・横の連絡を密に

# 働き方改革は どうするか

## 町長 意識向上や効率化を図る

**問** 縦割りの連携だけでなく各課との横の連携が必要である。事務ミスを横断して共有し、失敗より学んだ経験を活かし事務の改善に取り組む対処法は行っているか。

**町長** 職員同士の見える化の推進は、非常に重要と考える。平成26年度から職員の意識向上や業務の効率化を図るため、業務改善運動を行っており、改善事業は現在も継続している。

**問** 女性幹部職員の登用について、どのように考えるか。

**町長** 現在、一般行政職

において、課長級、課長補佐級、係長級の職員は46人おり、そのうち女性は9人、割合にすると19.6%となる。個人の能力や適性を見極め、きめ細やかな対応、多面的な視点、発想ができるよう指導並びに育成を行っていく。

**問** 児童・生徒に新しい教育、学力向上ということであれば、教職員の働き方改革が最優先と考えるがどうか。

**教育長** 学校として取り組むこと、教育委員会で取り組むことを整理し、教員が本来の業務に専念できる環境づくりを模索している。

**問** 2学期制という考え方もあるがどうか。

**教育長** 教職員や子どもたちにとっても、ゆったりとした環境の中で、教育活動を展開できるのではないかと認識を持っている。



たなか ともゆき  
田中 智之議員

# 来年度予算 3つの投資にどう反映

## 町長 税収見込みを精査し検討

**問** 現在、来年度予算の編成が進められている。厳しい財政の中で、町が抱える課題の全てを前に進めることは難しい。それ故、新規・継続・改廃事業の取捨選択には慎重かつ大胆な判断が必要だ。町長の公約の柱は「子ども」、「新しい教育・福祉」、「未来につながる事業」への投資で、町民の期待もそこにある。町長にとって2回目の予算編成で、任期からいうと早くも折り返し地点だ。新年度予算に3つの投資をどのように反映させるのか。

また公約に「行政の見える化」を掲げ、徹底的に情報を公開するとしているが、現時点での町民への情報公開は十分か。

**町長** 来年度は防災対策として、3小学校のつり天井撤去改修工事を実施。歳入が伸びない中、財源シフトなどによる事業見直しも必要だ。長寿祝い金を見直し、高齢者タクシー券助成の拡充を検討。また、循環バスや小・中学校のスクールバスを含めた町全体の公共交通の在り方や、保育園・こども園体制の見直しを継続。情報公開に関しては、広報を通じ今まで以上に発信を心掛けてきた。今後も行政の透明度を高め、より丁寧に情報を伝える。



▲不登校には早めの対処を

## 不登校児童・生徒の実態と対策は

**教育長** 児童約0・3% 生徒約4・4%

は。昨年年度、全国での小・中学生の不登校数が過去最高となり、小学生の不登校は10年前の2倍以上に急増した。不登校の理由は「家庭の状況」が37・6%で最も多く、「いじめ」は全体の0・6%だ。不登校の低年齢化と、理由が家庭の状況という現象は、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わった証で、早めの対処が不登校防止につながる。

**問** 本町の不登校児童・生徒数と、全体の割合は。また、その理由は何か。

**教育長** 児童3人、生徒では18人が不登校の状況。原因は病気、家庭状況、怠学傾向、人間関係、生活の乱れなどが複合的に合わさっている。

**問** 家庭の状況を原因とした不登校はあるか。あるとしたら内容と対処法

**教育長** 小学校2件、中学校6件。民生委員やソーシャルワーカーなどが保護者と関わり支援。

**問** 教育機会確保法が施行されたが、本町ではこの法に基づく支援はあるか。

**教育長** 適応指導教室（フレンドルーム）が設置されており、広い意味ではこの制度による支援だ。

**問** フリースクールが運営されている自治体も多い。計画や打診はあるか。

**教育長** 計画や打診はない。ただ適応指導教室の在り方を検討する必要がある。

**問** 家庭の状況を原因とした不登校はあるか。あるとしたら内容と対処法

**教育長** 児童3人、生徒では18人が不登校の状況。原因は病気、家庭状況、怠学傾向、人間関係、生活の乱れなどが複合的に合わさっている。

**問** 家庭の状況を原因とした不登校はあるか。あるとしたら内容と対処法

## 町民目線で 調査を継続する

### 総務文教

11月28日、閉会中調査で聖籠こども園を訪問し、10月の幼保無償化以降、現場への影響について調査しました。その後、役場で担当課より、こども園の状況、そして英語教育の現状の説明を受けました。

12月定例会での委員会調査では、会計年度任用職員に関する制度をはじめ7議案について説明を求め審査を行いました。そのうち蓮濁集落からの陳情については、全員

で現場を調査確認し、陳情者と担当課より説明を受けました。審査の結果、通学路として指定されることを条件に全会一致で採択しました。

改選後、2回目の定例会を終了し、議案の進め方、各委員間による町民目線での意見、質問を交わし、議論を深めました。今後も、さらに町民目線の調査報告をしていきます。

(文責 小川勝也)



見て聞いて  
話し合った

# 委員会 レポート

## 深谷市・中之条町 視察研修

### 厚生産業



①深谷市の(有)ファームヤードは、ネギ、小松菜を中心に何種類かの野菜を、年間を通じて生産しています。

当町では、本年から町内6カ所のほ場整備に取り組んでおり、県のほ場整備の採択要件である園芸作物2割を達成するために、(有)ファームヤードの視察を行いました。ここでは、「遊休農地の解消、野菜の安定供給、雇用の安定」の3つの旗印を掲げ、地域に貢献しています。

当町の農業法人にも事業化し作付管理できる体系の確立を望みます。

②中之条ガーデنزにおいて、花づくりへの取り組みについて視察しました。

当町でも環境美化に取り組むボランティアの募集や、NPO法人を設立(町補助による)して植栽場所を広げてきました。行財政改革によりNPO法人は解散しました。

中之条町は花の力を借りて、温泉郷などの雰囲気を楽しんでいます。当町との違いは、多額の補助金に頼らず町の景観・文化を守る活動として誇りを持って独自の取り組みをしているところと感じました。

(文責 高松守雄)



故 小川益一郎議員

## お別れのことば

小川益一郎議員が令和2年1月2日に逝去されました。

小川議員は昭和46年に役場職員として入庁され、以後20年以上の長きにわたり役場の要職を務められました。また平成7年、町議会選挙で初当選されて以来、7期22年在職されました。その間、議会広報対策特別委員長や議会運営委員長、そして議会議長などの要職を歴任し、町政発展のために尽力され、町政への貢献は計り知れません。

町の発展だけでなく、常に町民一人一人の幸せを念頭に置いた政治姿勢を貫いてきた小川議員の政治信条は、多くの町民の心に残ることでしょう。

町の発展、そして町民の幸せのため、私たち残された議員13人も議会活動に邁進してまいります。惜別の情は尽きませんが、ここに生前の幾多の功績を称え、慎んで哀悼の意を表します。どうか安らかにやすみください。

# 思い一つに 議会広報の作成を

## 広報広聴

新体制となった委員会では、11月19日、群馬県玉村町への視察研修に、11月26日、新潟県町村議会議長会の広報研修会と短期間に2つの研修に参加しました。

平成28年から3年連続議会広報全国コンクールで上位入選している玉村町議会。編集方針は分かりやすく読みやすい紙面づくり。「見やすさ・分かりやすさ」を意識し、刷新することのためらうことなく取り組む姿勢に感銘を受けました。

『わかりやすく伝わりやすい文章を書く』をテーマに行われた広報研修会。3時間にも及ぶ講演では、広報誌は「正確な情報を伝えること」が重要であり、読み手が読み違いをしないよう、作り手の意識の重みを再認識しました。

新体制となり日は浅いですが、委員の思いは一つ。さらに読みやすく、分かりやすい身近な議会広報誌の作成に向け、委員一丸となり取り組んでいきます。

(文責 宮沢さやか)



# ようこそ 聖籠へ!



「ようこそ聖籠へ!」では、  
他市町村出身で、  
現在聖籠町にお住まいの  
ご家族に  
インタビューをします。

~ Welcome to Seiro ~



たかはし ゆ き こ  
高橋友紀子さん  
(亀塚)

家族みんなで仲良く♪



今回は亀塚集落の高橋さん  
ご家族です。

◎家族構成を教えてください。  
私たちが夫婦と、長男、長女、次女の5人家族です。

◎出身地と聖籠在住年数を教えてください。  
主人は聖籠町出身ですが、私は豊栄から来ました。聖籠町に住んで18年になります。

◎聖籠町の良い点、悪い点があれば教えてください。  
あれば教えてください。

良いところは、ブドウやサクランボなど果物がおいしいところと、子育てしやすいところです。  
不便だなと感じるところは、子どもたちが風邪をひいたりしたときには、いつも新発田市にある小児科や耳鼻科へ行っているところと、いろいろな専門の医院(小児科、耳鼻科、皮膚科など)が町内にもあると良いと思います。

◎どんな町になってほしいですか。  
困ったときに話ができる、助け合える、みんなが笑顔で声を掛け合う町。

◎高齢者と若者が一緒に過ごせる町。  
◎自信をもって自慢できる町。であってほしいです。

◎高橋さんの夢を教えてください。  
家族みんなで仲良く笑って過ごしていきたいです。

## お知らせ

~information~

★議会を傍聴に  
きませんか

次回の定例会は、**3月10日(火)** 開催予定です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。

## ★表紙の写真★

「うわあ〜 おもたーい!」(柔道スポーツ少年団・鏡開き)

意外と重たい杵を子どもたちはがんばって持ち上げていました。

おいしいおもちをみんなで食べて、今年一年健康でありますように。  
(撮影 高崎美由貴)

## 編集後記

改選後2回目となる12月議会  
は、新人3人を含む8人が質問に  
立ちました。

議会も12月から新たな体制となりました。12月1日には聖籠町議会初となる、町民との意見交換会が開かれました。初めてということもあり、議員、町民共に緊張の中始まりました。町民からは活発な意見や質問が時間が足りないというくらい飛び交いました。議会としては有意義な時間でした。今後もどこかで議員を見かけたら、遠慮無く意見や質問をぶつけてほしいです。それが町民と町づくりをする議員の仕事です。

広報広聴常任委員会

委員 青木 順

## 発行責任者

議長 五十嵐利栄

## 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢さやか

副委員長 伊藤 千穂

委員 中村恵美子

田中 智之

青木 順

高崎美由貴

発行 新潟県聖籠町議会  
編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

聖籠町議会

検索

せいろう議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。